

TDK株式会社 三隈川工場 安全衛生方針

【安全衛生基本理念】

安全は全てに優先する

TDK三隈川工場は、従業員がそれぞれの職務を最良の状態で遂行するために、安全で衛生的な職場環境の形成が重要な経営課題の一つと認識し、その実現に向けた行動を全員で実行します。

【安全衛生活動方針】

危険要因『ゼロ』を目指し、全員参加で安全衛生活動に取り組む

TDK三隈川工場は、法の遵守は勿論の事、安全衛生マネジメントシステムの有効性の維持、質的向上に取り組めます。しかし、システムがしっかりしていても最後は人で決まります。したがって、TDK三隈川工場では、メンバーが常に対話し、潜在リスクの芽を摘む様に心がけています。

法の遵守

1. 危険源に係わる労働安全衛生法規、その他の要求事項を遵守する。

安全衛生マネジメントシステムの活用

1. 安全衛生マネジメントシステムの有効性維持のため、内部監査を実施し、継続的改善を実施する。
2. 以下の施策を実施し、リスクの低減及び安全衛生マネジメントシステムの質的向上を図る。
 - (1) 事業形態の変更に伴うリスクの抽出や見直しを確実に実施する。
 - (2) 計画的職場巡視により、潜在リスクの抽出と継続的低減活動を実施する。
 - (3) 現場管理者(職長)への力量アップを図るため、教育・訓練体制を充実する。
 - (4) 計画的な『Sの日(安全の日)』活動を実施する。
 - (5) 従業員の健康保持、増進を支援する。

平成25年4月1日

工場長 福島 清人

